

令和8年3月9日

次の本市の標準準拠システムが、本市専用のクラウド環境（以下「本市プライベートクラウド」という）へ移行するため、「デジタル基盤改革支援補助金（地方公共団体情報システムの標準化・共通化に係る事業）事務処理要領」（地方公共団体情報システム機構）に基づき、下記のとおり、国が整備した全国的なクラウド環境（以下「ガバメントクラウド」という。）を利用した場合との性能面、経済合理性等の比較結果を公表する。

流山市長 井崎 義治

記

1 標準準拠システム

システム名	取り扱う標準化対象事務
戸籍・戸籍附票システム	戸籍・戸籍附票

2 性能面等の比較結果

【性能面等比較表】

比較項目	本市プライベートクラウド	ガバメントクラウド
地方公共団体情報システムの非機能要件の標準（以下「非機能要件の標準」という。）に適合していること	○ 本市プライベートクラウドを利用した場合であっても、非機能要件の標準に適合することができる。	○
データセンターの物理的所在地が国内であること	○ 国内に所在	○
情報資産の国外持ち出し制限があること	○ 契約により規定	○
ガバメントクラウドとのデータ連携が可能であること	○ 必要に応じてガバメントクラウドと接続することができる。	—
裁判管轄が国内で契約が日本法に基づくものであること	○ 契約により規定	○

3 経済合理性の比較結果

【比較する経費の詳細】

- ・経費A・・・標準準拠システムを本市プライベートクラウドへ移行した場合の経費（契約額）
- ・経費B・・・標準準拠システムをガバメントクラウドへ移行した場合の経費（試算額）

【経済合理性比較表】

(単位：円(税抜))

経費区分		経費A (契約額)	経費B (試算額)	差額 (A-B)	
移行時の経費 (イニシャルコスト)	作業費	カスタマイズ費	0	0	
		環境構築費	5,760,000	7,760,000	▲2,000,000
		データ移行費	5,540,000	9,540,000	▲4,000,000
		他システム連携機能構築作業費	960,000	960,000	0
		操作マニュアル作成・職員研修費	480,000	480,000	0
		プロジェクト管理費	0	0	0
移行時の経費(イニシャルコスト)計		12,740,000	18,740,000	▲6,000,000	
移行後の経費※ (ランニングコスト)	作業費	システム運用作業	30,240,000	33,720,000	▲3,480,000
		ハードウェア保守作業	0	0	0
		その他外部委託費	0	0	0
	作業費計		30,240,000	33,720,000	▲3,480,000
	物品費	ハードウェア借料	30,611,000	30,611,000	0
		ハードウェア保守料	5,784,000	5,784,000	0
		ソフトウェア借料	0	0	0
		ソフトウェア保守料	0	0	0
		データセンター利用費	0	0	0
		通信回線費	1,200,000	1,200,000	0
クラウド利用料	15,960,000	19,200,000	▲3,240,000		
物品費計		53,555,000	56,795,000	▲3,240,000	
移行後の経費(ランニングコスト)計		83,795,000	90,515,000	▲6,720,000	
合計		96,535,000	109,255,000	▲12,720,000	

※移行後の経費(ランニングコスト)は、5年分

担当 ・公表資料に関すること  
総合政策部 情報政策・改革改善課  
電話 04-7150-6078  
・上記1のシステムに関すること  
市民生活部 市民課  
電話 04-7150-6075